

■ 指定管理者制度導入施設 中間評価シート ■

1 基本情報

公の施設名	杜のホールはしもと、城山文化ホール
指定管理者名	公益財団法人 相模原市民文化財団
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)
施設設置条例	相模原市立杜のホールはしもと条例、相模原市立城山文化ホール条例
施設の設置目的	杜のホールはしもと：市民が音楽、演劇等の芸術文化を鑑賞することができる機会及び市民が自ら芸術文化活動を実践することができる場を提供し、もって豊かな市民文化の創造に寄与するため 城山文化ホール：市民が行う様々な文化芸術活動及び交流活動を通じて、豊かな市民文化の振興に寄与するため、多目的な利用が可能な施設として設置する
施設概要	杜のホールはしもと ・所在地 相模原市緑区橋本3-28-1 ・敷地面積 8,626.18㎡ ・延床面積 9,601.10㎡(うちホール専有面積 6,638.14㎡) ・構造 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 地下2階地上9階建(内ホール部分：7～9階) ・主な施設 7階 ホール(定員535人：固定席531席、車椅子席4席)、セミナールーム1 8階 多目的室(移動席200席)、練習室1～3、音楽スタジオ、セミナールーム2 城山文化ホール 所在地：相模原市緑区久保沢2-26-2 敷地面積：2,646.05㎡ 延床面積：1,395.99㎡ 構造：鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)地上2階建て 主な施設：多目的ホール(可動席296席、段床式ホール又は平土間形式として利用可能)、楽屋1・楽屋2、リハーサル室、ギャラリー、併設駐車場
施設所管課	市民局 文化振興課

2 管理実績

項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	147,816	42,709	78,317		
利用料金合計(円)	68,726,962	30,967,962	68,856,531		

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 5
	B	D	C				

指標1

指標名(単位)	企画提案文化事業来場者の満足度(%)
指標式と指標の説明	指定管理者の企画提案で行う文化事業の来場者の満足度(「指定管理者が行う業務の詳細」に定める事業において回収された来場者アンケートのうち、最も高い満足度を回答した方の割合)を成果指標とする。

項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(%)	76.0	77.0	78.0		
実績値(%)	66.9	59.9	67.2		
達成度(%)	88.0%	77.8%	86.2%		

指標2	※感染症蔓延に伴う外出自粛等の影響を受けているため、R3年度は評価対象外とした。				
指標名(単位)	杜のホールはしもと(ホール、多目的室)及び城山文化ホール(多目的ホール)の平均利用率(%)				
指標式と指標の説明	施設が利用されることにより、市民の鑑賞機会や活動機会が増加し、市民の文化活動が推進されるため、(利用日数・利用可能日数)にて算出された対象施設の利用率の平均を成果指標とする。				
項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(%)	83.0	83.0	84.0		
実績値(%)	83.6	58.3	74.1		
達成度(%)	100.7%	70.2%	88.2%		

4 事業の実施状況

評価(5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 17
	A	S	A				

市が指定する事業

主な事業名	内容等	効果等
なし		

企画提案事業

主な事業名	内容等	効果等
各施設の規模及び地域性を生かし、伝統文化や優れた芸術作品を鑑賞する機会を市民へ提供する舞台芸術公演事業	15回以上	
シリーズ杜の響き	年2回実施し、ホールの響きと室内楽ホールの特徴を活かしながら、毎回異なるコンセプトと出演者で市民に優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供する事業。	話題のアーティストによる公演の実施により、市民に優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供するとともに、杜のホールの知名度アップに繋がっている。
さがみはら若手落語家選手権	2002年から継続している財団オリジナルの落語選手権。「3大若手落語家コンクール」の一つとしても浸透しつつあり、各回熱戦が繰り広げられている。	市民に落語を楽しむ機会を提供し、杜のホールの看板事業として定着している。将来の真打を相模原から育てるということも、ひとつのねらい(お客様にとっては楽しみ)となっている。
「0さいからの」シリーズ	0歳から入場できるコンサートとして2012年度より実施している事業。毎年、クラシックや軽音楽などを年1回実施し、次代を担う子どもたちの地域での文化芸術鑑賞の機会を提供している。	毎回楽しみという人もおり、定着してきている事業となっている。子どもへの鑑賞機会だけでなく、保護者(特に母親)に対する外出のきっかけの提供にもつながっている。
城山夏まつりイベント映画上映会	城山夏まつりイベントとして、地域と連携を図ると共に、午後の部は障害者施設を招待する映画上映会。	地域の子もたちや一人での外出が困難な方にも気軽に鑑賞できる機会を提供し、地域の鑑賞ニーズに応え、社会福祉にも貢献している。
しろやま寄席	杜のホールはしもと開催「さがみはら若手落語家選手権」にて優勝・準優勝の落語家が出演する杜のホールグループ連携事業。	毎回、多くの入場者と高い満足度となっており、低価格なチケットで地域の方々に落語を気軽に楽しむ機会を寄与している。

市民自らが芸術文化活動に参加し、相互に交流できる機会を提供するなどの市民の自主的な活動の支援に関する事業	3回以上	
さがみはら若手落語家選手権優勝者による出前落語	市内の高齢者福祉施設、自治会等の地域コミュニティなどで落語会を開催できるよう、前年度のさがみはら若手落語家選手権優勝者を派遣する事業。出演料は財団が負担している。	地域の住民と連携し、市民が「落語」に触れることのできる機会の提供と市民の文化活動を支援につながっている。
相模原アンサンブルコンテスト	市内の小・中・高等学校吹奏楽部の生徒が参加する大会で、県大会の予選会になっており、開館以来続く市民参加育成事業として実施している。	次代の文化を担う若者たちの文化活動の支援及び市民の文化活動の支援につながっている。
世界3大ピアノのひとつ、ベヒシュタインを弾いてみよう！	2014年度から実施している事業。神奈川県下の公共ホールで唯一所有するベヒシュタインを利用区分より短い時間に区切ることで気軽に試奏する機会を提供している。	毎回定員以上の応募があり、市民の文化活動支援につながっている。また応募者がホール利用を申し込むケースもあり、施設のアピールにも寄与している。
もみじホール城山 市民ステージ	もみじホール城山の利用実績があるダンスや楽器演奏の団体が参加する事業。また、ギャラリー利用者による、絵画、水墨画、書道、写真などの展示も実施している。	ホール利用者間の交流を深める機会となっており、地域文化の発展に寄与している。

自主事業

主な事業名	内容等	効果等
自動販売機設置	・杜のホールはしもと…5台 ・城山文化ホール…2台	施設利用者の利便性の向上を図りつつ、自主事業としての利益を確保し、市民への文化芸術に還元している。

5 利用者の満足度

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 17
	A	S	A				

利用者満足度調査

調査手法	施設利用者に対するアンケートの実施
目標値の基準	5段階評価のうち、「とてもよい」、「よい」、「ふつう」と回答した方の割合の合計

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（％）	90.0	90.0	90.0		
実績値（％）	98.6	99.0	98.3		
達成度（％）	109.6%	110.0%	109.2%		

利用者意見の把握に資するその他の取組

主な取組事項	取組内容
アンケートBOX	施設にアンケートBOXを設置し、利用者からの意見や要望等を随時受け付けている。受け付けた内容については会議で共有を図り、対応に努めている。
ホームページお問い合わせフォーム	施設のHPにお問い合わせフォームを設置し、利用者の方が質問や相談をしやすいような取り組みを行っている。

利用者意見に対する対応

主な意見	対応内容
バレエ用シートが古くなって使いづらい。（杜のホールはしもと 練習室）	練習室2のバレエ用シートを更新した。
机に1200mmの短い物があると良い。（城山文化ホール ギャラリー）	市のリユース備品を譲り受け、1200mmの机を調達した。

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
	S	A	S				

施設の収支概要

(千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入 (a)	221,497	222,125	242,411		
指定管理料	140,605	142,510	136,865		
利用料金収入	68,727	30,968	68,856		
その他の収入	12,165	48,647	36,690		
支出 (b)	216,178	203,098	225,060		
人件費	70,092	68,718	72,568		
本社管理経費	6,789	6,186	6,158		
その他の支出	139,297	128,194	146,334		
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)	5,319	19,027	17,351		
自主事業収入 (d)	1,463	1,330	859		
自主事業支出 (e)	347	1,127	361		
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)	1,116	203	498		
全体収支 【(c)+(f)】	6,435	19,230	17,849		
備考	和元年度分の新型コロナウイルス感染症拡大防止措置に伴う損失補償6779千円は収入に計上していない。				

7 管理業務の履行状況

検査項目	確認結果				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
管理業務	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
危機管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
人員配置・地元活用	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
現金管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
会計・経理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
情報セキュリティ	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
情報公開・個人情報保護	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
加点の有無	無	無	無		
主な加点内容					

8 提案事項のうち未実施のこと

主な事項	内容等	理由・今後の実施見込等
アートラボはしもと×桜美林大学×橋本図書館×杜のホールはしもと 連携事業	地域連携による子ども向けワークショップ	感染症拡大の影響により未実施。
インナーガーデンを会場にしたアウトリーチコンサートの実施	インナーガーデンを会場にした無料のアウトリーチコンサートを実施し、どなたでも気軽に音楽に触れる機会を提供する。	代替事業として2019年4月、6月、8月「地元音楽アーティスト応援企画あなたの街のウタリスト」を実施した。
城山文化ホールにおける緑区魅力づくり事業の実施	地域住民を対象とした、緑区魅力づくり事業実行委員会(緑区地域振興課)との連携事業を実施。	2020年2月「緑区郷土芸能フェスタ」が感染症拡大の影響で中止、2021年度以降は緑区の事業ではなくこれに代わる事業は予定なし。
城山文化ホールにおける近隣NPO団体等との連携事業の実施	地元で活動するNPO団体との連携事業を実施し、活動を支援する。	当初予定していたNPO団体は相手方の都合により会場が変更になったため実施不可となった。代替事業として城山商工会青年部と連携し「小倉橋フォトコンテスト入賞作品展」を実施した。

9 提案事項にないが実施したこと

主な事項	内容等	効果等
抽選会方式の変更	利用者を集合させた抽選会から、事前申込制で自動抽選方式へ変更した。	感染症拡大防止のほか、利用者が決められた日時に来館することなく抽選に参加でき、利便性が高められた。
平日直前割引制度の導入	平日の午前・午後区分に「舞台のみ」で行う練習・リハーサルを、利用日の15日前から3日前までに利用申請した場合、基本利用料金の25%の金額で利用できる新たな割引制度を導入した。	人との距離を確保できる感染症対策と相まって安価で広い練習場所を利用できることから、利用率増加と新規利用者の獲得につながった。

10 指定管理者の自己評価

施設の設置目的や、条例等を十分に理解し、適切な施設利用事務を行い、施設の催し物の情報や空き日の情報をホームページで公開するなど利用者増加に努め、多くの方に利用いただいている。また、施設や設備を保つために日常管理を行うとともに、定期点検を計画的に実施し、安全な施設を維持することができた。感染症まん延の影響により施設の利用制限も生じたが、感染症対策を講じながら適切な施設運営に努め、これまで培ってきたノウハウを生かし、安心して利用できる施設、鑑賞できる施設として運営することができた。

令和元年度は、施設の休止や事業の中止などの影響により本体事業収支が予算に対し大幅に下回る結果となったが、令和2年度、3年度は、市の協力金、補助金により収支状況は改善したことから、令和4年度、令和5年度において当該利益を財源とした還元事業を実施する。

企画提案事業においては、施設の特徴や設置目的を踏まえた特色ある事業を実施することができた。杜のホールにおいては、ホールの響きの良さを活かした本格的クラシック事業のシリーズ杜の響き、0才から入場でき家族で楽しめる0さいシリーズ、来場者の投票によって優勝者を決定する杜のホールの看板事業のさがみはら若手落語家選手権など、ホールと多目的室の特徴を活かした公演を実施した。城山文化ホールでは、地域と連携して実施する城山夏まつりプレイベント映画上映会、利用者間の交流を深める事業のもみじホール城山市民ステージなど、地域文化の発展に貢献する事業を実施した。また、毎回定員を超える応募で人気の世界3大ピアノのひとつ、ベヒシュタインを弾いてみよう！、落語を気軽に楽しむ機会のしろやま寄席など、施設や地域の特性を生かして文化を身近に感じていただける事業を実施した。

11 所管課意見

新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた三年間であったが、国や県で定める対応方針や業種別ガイドライン等に基づき、感染症対策を講じながら円滑な施設運営をしていただいた。

杜のホールはしもとでは若手落語家選手権やホールの響きの良さを生かした音楽公演など地域性やホール特性を踏まえた事業が実施されている。

もみじホール城山は利用率が目標に対し堅調に推移しており、令和2年度は感染症の影響が大きかったため目標値を下回ったが、令和3年度には過去最高の利用率に達しており、平日直前割引導入による効果もあるが、利用者の獲得、定着化が図られている。

施設経営については、大幅な黒字となっているが令和2年度以降の黒字は市から交付される補助金によるところも大きい。物価高騰、人件費高騰により施設経営はますます厳しさが増していくので、引き続き効率的な施設運営に取り組んでいただきたい。

12 選考委員会意見

今期は感染症のまん延など、特殊な状況にあったが、安定的な運営が行われており、抽選会を非対面化するなど、状況に応じた工夫が見られ、持続可能な施設運営に繋がる取組がなされていると評価する。杜のホール及びもみじホールは、文化会館と比較すると、市民団体や学校の利用が多い市民に近い施設になるが、企画提案事業では、0才からのクラシックなどの子ども向け事業などを行う一方で、一流の演奏家を招聘して芸術性の高い公演も実施しており、市民向け事業と文化芸術の発信がバランス良く行われ、緑区という広い区域や地域性を意識した事業展開がなされている。しかしながら、成果指標の達成度が低くなっているため、この結果を受け、後期にどのように改善取り組むか、達成度の推移も含め注視したい。施設経営については、市から交付された補助金の効果もあるが、指定管理者本体の経営も安定しており、財務面のバランスもとれている。

総合評価（自動判定）

A

(72/100)

